

病態生理学 Pathophysiology

薬：E3-02221MY、生命：E3-02221MS

医療科目 2年／後期 1.5単位 必修科目

科目責任者 蒲生 修治(病態生理学研究室)

■教育目的

病態生理学とは、生体の正常な機能の破綻により生じる症状や、疾患が引き起こされる機序・経過の解明を目指す学問である。解剖・生理に基づいた症状・疾患の成り立ちの理解と、治療戦略を考察するのに必要な専門知識の習得を目的とする。生体を俯瞰的に捉え、生理機能の異常と病態との関連や治療戦略を論理の飛躍無く説明できるようになることが重要である。【卒業認定・学位授与の方針：YD-①、YD-③、YD-⑥、SD-②、SD-③、SD-⑤】

■学習到達目標

1. 主要な疾患の発症原因、発症機序及び経過を説明できる(知識)
2. 主要な疾患の症状や特徴および関連する疾患・症状を説明できる(知識)
3. 主要な疾患への適切な対応や治療戦略を根拠に基づいて提案できる(知識・態度)
4. 推定した疾患を診断するための適切な方法を提案できる(知識)

■準備学習(予習・復習)

予習：受講前に必ず事前配信資料(MY-CAST 経由)に目を通しておくこと(15分)。各回の講義内容に関連する生理学の基本的事項を『シンプル生理学』等を用いて復習しておくこと(20分以上)

復習：講義内容について論理を飛躍させずに説明できるようにすること(30分以上)

■授業形態

課題解決型学習、講義

■授業内容

下記の項目に関して、配信資料及び教科書を使って解説する。

No.	項目	授業内容	SBOコード
1	病態生理学総論	病理学総論、臨床検査学総論、病因論、症候学、画像診断学	E2(1)~(6)
2	循環器疾患①	心不全、高血圧症	E2(3)-①-1~5
3	循環器疾患②	不整脈、虚血性心疾患	//
4	呼吸器疾患	換気障害の分類、気管支喘息、COPD、間質性肺炎、その他の呼吸器系疾患	E2(4)-①-1~3
5	消化器疾患	食道の疾患、胃・十二指腸の疾患、大腸の疾患、肝臓の疾患、胆道・膵臓の疾患	E2(4)-②-1~6
6	泌尿器疾患	腎不全、ネフローゼ症候群、排尿障害(前立腺肥大症、過活動・低活動膀胱)、糸球体腎炎、糖尿病腎症、尿路感染症	E2(3)-③-2~5
7	中枢神経系疾患①	統合失調症、うつ病・躁病・双極性障害、神経症、心身症、不眠症、認知症、頭痛	E2(1)-③-4~11
8	中枢神経系疾患②	脳血管疾患(アテローム血栓性脳梗塞、心原性脳塞栓症、ラクナ梗塞、脳出血、くも膜下出血)、てんかん、パーキンソン病	//
9	骨・関節・カルシウム代謝疾患	骨粗鬆症、変形関節症、骨軟化症・くる病	E2(2)-③-1~4 E2(3)-②-3~5
10	眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科疾患	近視・遠視・色覚異常、緑内障、白内障、加齢黄斑変性、めまい、アレルギー性鼻炎、副鼻腔炎痛など	E2(2)-②-3,4 E2(6)-①-1~4 E2(6)-②-1,2 E2(6)-③-1~4
11	代謝疾患	糖尿病	E2(5)-①-1
12	血液疾患	貧血、白血病	E2(3)-②-3
13	内分泌疾患	甲状腺疾患	E2(5)-②-3
14	膠原病	関節リウマチ	E2(2)-③-1
15	生殖器疾患	前立腺肥大症、子宮内膜症、子宮筋腫、異常妊娠	E2(3)-③-6,8

■授業分担者

蒲生 修治(No.1~10)、望月靖子(No.11~15)

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

適宜、理解度を自己評価するための課題を課すので復習に活用すること。成績評価は期末試験の得点に基づいて行う(100%)。

■ 単位認定方法

期末試験で基準点を超えた者に単位を認める。

■ 教科書

必要に応じてプリント、演習問題を配布する。

■ 参考書

navigate シリーズ(医学書院)

病気がみえるシリーズ(メディックメディア)